

## 目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	39	○身だしなみやおしゃれの支援 ・希望を聞くということが疎かになってきている(起床時や入浴時職員が一人で洋服を選んで用意してしまう) ・爪や髭が伸びている、髪がとかれていない等整容に対しての支援が消極的 ・洋服のほつれや汚れがそのままであったり、サイズが合っていないものをそのまま着ていることもある ・上記に対して職員の意識も低下気味で後回しとなっていることが目立ってきた	身だしなみが整い、お洒落を楽しむことができることで、利用者が気持ちよく一日を過ごせ、生活意欲の向上に繋がる。 ①服装や髪型など、本人の好みや拘りにそって支援が出来る。 (一人一人の個性が大切に出来る) ②本人が自己決定や自己選択できるようなアプローチができる。 ③清潔を意識した整容への支援が継続できる。	①個々のお洒落に対しての嗜好や拘りを知る。 ②起床時の身支度への支援に力を入れ、衣類の選択、整容など丁寧に行う ③衣類の傷み、ほつれ、汚れやしわなどをそのままにせず、またサイズが合わなくなったものも早めに対応していく ④定期的、継続的に爪の手入れを支援する ⑤衣類の選択は本人が分かりやすい声掛けや選択肢を設けながら一緒に行う ⑥行事や誕生日など特別な日へのお洒落を大切に(本人のお気に入りの服や家族から贈られた大切なものを身につける)	12ヶ月
2	27	○個別の記録と実践への反映 ・利用者の日々の記録に時間がかかっている ・何を書くか、どのようにまとめるか等記載内容に関して難しく感じている職員が多い ・夜間、チェック機能のために転記する箇所があるが効率が悪いかもしれない ・記録が日々のケアやプランに活かされるとまではいかず、書くことに精一杯の現状がある ・くせ字、乱文など読みにくさもある	①記録の意味や必要性を、現在の記録の種類と合わせながら理解できる ②ケアプランにそった日々のケアが記録できるようになる ③利用者の発する言葉が記録の中に残るようにしたい ④記録を読み返すことで、次のケアに繋がるヒントが得られるようになる ⑤時間内に記録が終えられるようになる	①記録の必要性についての内部研修を行う(R3.1月:過去の外部研修資料等を活用する) ②「時間がかかる」の理由を見つける ・何を書けばよいかわからない(職員の課題) ・利用者の様子を思い出せない(職員の課題) ・書くことが多い(量の問題) ・書きにくい(様式の問題) →どこに問題があるかを丁寧に取り上げ一つ一つ対策を検討する。チームで取り組む ③いつ、どのタイミングで記録をするか業務全体の見直しを行う ④分かりやすい記録、読みやすかった記録を挙げていき、良い点を見つけていく ⑤カンファ前には、記録を読み返す習慣をつけていく	12ヶ月
3					

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。